

2020 桑島ゼミの取り組み

少子高齢化などの要因によりさまざまな地域で活力が失われつつあります。この問題に対し、アートの力を借りた地域活性化の取り組みが各地で行われています。桑島ゼミナールでは、地域のアートイベントへ参画し、文化の力による地域の課題解決に取り組んでいます。

2019年

広報・イベント企画・運営(こさかJAZZストリート)



リアクト地域交流ルームで実施したゴスペルワークショップ

●来場者アンケート (n=351)
平均年齢



約2,000人

a. こさかJAZZストリートとは

近鉄河内小阪駅を中心に、地域の公共施設や商業施設など複数の会場で毎年10月に開催される音楽イベントです。運営は市民が主体となって行われており、昨年、桑島ゼミでは広報やイベント企画・運営、アンケート調査まで、さまざまな業務を担当しました。

b. SNSやチラシ配布など多角的な広報・宣伝

新規来場者の開拓をするために、SNSやチラシ配布など、多様なチャンネルで発信しました。広告では、小阪城をモチーフにエッジの効いたポスターを制作し、地域イベントであることをアピールしました。また、行政や地域メディアにも働きかけ、市政だよりやケーブルテレビにも取り上げられました。活発な広報活動により参加者は約2,000名にも及びました。

c. 新しいイベントの企画と運営

桑島ゼミオリジナル企画として、音楽演奏を体験できるワークショップを企画。プロのパーカッショニストやゴスペルの指導者をお招きして「ゴスペル」と「パーカッション」のワークショップを開催しました。女性やファミリーなど新しい参加者が訪れ、大盛況でした。



ワークショップを体験しイメージを掴んだ。

イベント参与観察



ボランティアの方々と協力して受付を行った。

a. ワークショップフェス西宮ドアーズ

公募で選ばれた市民が講師となってアートや音楽、伝統芸能などさまざまなワークショップが体験出来るのが西宮ドアーズ。どのワークショップも500円で、未知な世界が体験出来る話題のイベントです。桑島ゼミでは昨年よりこのイベントにボランティアとして参加し、ワークショップイベントの運営を体験的に行いました。



演劇的表現も求められた。

b. リアル謎解きゲーム×東大阪市文化創造館/パックスステージツアーア

昨年9月、オープンした東大阪市文化創造館で開催されたオープニングイベントスタッフとして参加しました。

新しい施設全体を会場に「謎解きゲーム」を行うという演劇的要素も入ったイベントでしたが、受付、案内係アクリアとして参加し、ワークショップイベントの運営を体験することができました。

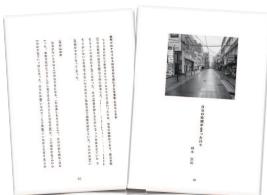
2020年前期

前期授業はすべてオンライン授業となったため、ゼミはすべてWeb会議システムを用いて行いました。

理論編



オンラインゼミの様子



レポート課題が冊子に。
「新型コロナウイルスで変わったわたしたちの暮らし」

a. 文章作成能力の向上

外出がはばかられるこの時期だからこそできること、ということで「伝わる日本語練習帳」という教材を用いて、文章能力の向上を図りました。このテキストで設定されている設問には明確な答えはありません。それについてグループで議論しながらみんなで考えをまとめました。ゼミ生それぞれまったく違う場所にいながらでも、リモートで不自由なく議論ができ、新しいコミュニケーションの可能性を体感しました。

b. 伝える力の向上

2年生はゼミ内で初めてプレゼンテーションを行いました。テーマは「アート関連の新書を読んで、発表する」です。実際に会ったことのないゼミ生を相手にリモートでプレゼンするという、得難い体験をしました。



パワーポイントをZOOMに表示させてプレゼン

c. 専門知識の習得

3年生は「パフォーマンスの美学」という専門書をリモートで音読し、内容を分析しました。「演じる」と「鑑賞する」という安定した関係性がパフォーマーが仕掛けた表現によって流动化していく様子を通じて、演じることや鑑賞するということの意味について深く考察することができました。

実践編 西宮ドアーズ@home広報プロジェクト



チーム田中制作のプロモ動画



ストーリーズによる情報発信

a. プロモーション動画作成

コロナ禍により中止となった今年の西宮ドアーズ。対面がムリならリモートで!ということで、ネットでワークショップが体験できる西宮ドアーズ@homeというサイトが開設されています。桑島ゼミではその宣伝、広報のためにプロモーション動画を作成しました。内容は、西宮ドアーズ公式YouTubeにアップされたワークショップ動画を見て「ゼミ生が体験してみた」というものです。

b. ストーリーズを用いた情報発信 Instagram

上記のプロモーション動画やストーリーズを作成し、Instagramで情報発信を行いました。ストーリーズと投稿は週に2回ほど行い、ストーリーズは15秒間に動画を編集し、投稿はタグ付けをたくさん付けて、多くの人に見てもうようにしました。

facebook

ゼミ生が作成した「西宮ドアーズ@home 体験レポート」をfacebookのページ機能を使って発信する取り組みです。

2020年後期 西宮市ライブミュージックスポット情報発信事業

「にしのみやライブミュージックスポットたずね歩き」の制作



2021年2月に西宮市内にあるライブハウス各所で音楽イベントの計画が進んでいます。その前宣伝として、会場となるライブハウスを紹介する動画の制作を桑島ゼミが行っています。

ゼミ生が西宮のライブハウスに訪問し、お店のオーナーさんと対談する形で、お店のジャンルや魅力を紹介します。

撮影も編集も発信もスマホ一台。あとは創意工夫とセンスどれだけのものができるのか。近年のユーチューバーの活躍にみられるような、ICTの進歩によって可能になつた情報発信の民主化を体現する試みです。

「ライブミュージックマップVol.2」の発行



vol.1 西宮市内の公共ホールをはじめ、計26ヶ所のライブスポットが掲載されている。

関西でいちばん住みたい町ランキングで常に上位に位置する西宮市。その理由は西宮が文教都市であるということ。つまり、豊かな市民文化が根付いている、それが西宮の魅力です。その市民文化のひとつの現れがライブハウスです。西宮市は市内各所にあるライブハウスを地域の文化資源と捉え、コロナ禍の中、厳しい状況にあるライブハウスをバックアップしています。

市内のライブハウスが一覧できるこのマップは西宮市が発行しているが、制作に携わるのが桑島ゼミです。ライブハウスとやりとりしながら編集作業を行います。

外出を自粛していたころのわたしたち

お金がないとやはり心の中は不安になる。家族全員がピリピリ しかし家ではどんよりとした

空気が流れた／最終的に私の帰省を温かく迎え入れた家族には感謝してもしきれない／なんとなく毎日を過ごしていたと気づき、普段しな

い「家で出来ること」に取り組めた 点は良かった／ニュースをよく

見る ようになった人や、政治や自治体の感染対策に興味を持った人が増えた／接客業のアルバイトをしているので、徹底した感染予

防を行いました／共働きの両親の負担を減らすため、 食事や洗濯や掃除など家のほと

んどすべてを私ひとり で行うようになった／友人との遊びの約束も 「コロナが取

まってからね」 が合言葉 のようになり、会わなくなりました／自分が自宅待機をすることが出来てい

るのも、ドラックストアやスーパー・マーケットなどで誰かが働いているからだと改めて感じました／緊急事態宣言や外出自粛要請など様々

な策が出されているが、 日本はコロナウイルスを恐れ過ぎ ていてかなりハイリスクな政

策を出していると私は考えます／バイトがなくなることで、経済的に厳しくなってしまったり、生活リズムが崩れている人がいた／バイト

がある人でも、緊急事態宣言のためバイトに行けない人の代わりに自分の負担が増えたという人もいた／オンライン授

業がマイナスしかないかと言われるとそうでもない と思いま

す／僕が以前の生活と変わったと思う事は、「今までの生活を初めて客観視するこ

とが出来たこと」 だと思います／学校も今までのものすごく行くのが面倒いと思っていたが、今では学校に行つ

て 友達と勉強して、わちゃわちゃしたい と本当に思う／ライブハウスで会うため、

私たちの帰る場所を守るために、 ライブハウスを存続するための支援プロ

ジェクトに賛同し募金 をしました／大阪府が大学生を対象に非常勤職員を募集しているというニュースを

見た／時給は低いがタイミングが良かったことと、良い経験になるのではと、即座に応募した／ スーパーは休業

どころかお客様が集中 し、余計に忙しくなった。それに加えて、小さい子供を持つパートさんがお

休みされて、 学生の負担が増えた／会話中心のコミュニケーション に大きく変わったり、オンラインアプリを

使ってのコミュニケーションが多くなった／ゼミナールで先生や他のゼミ生と話し合う際や塾のアルバイトで生徒に教える際にオンライン

アプリを使用している／一番怖かったのが、若者は感染しても発症しないことが多く、 無意識のうちに自ら

が感染源になってしまうこと でした／